

# 2026年 活動計画

2026年6月12日

一般社団法人 EMOBIA (エモビア)

## 目 次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション・地域共創の取り組み
2. 取り組み背景：国内外の動向
  - ①ITSの大変革 ②世界のEV拡大？ ③自動運転・事故防止の動向 ④自動車産業13の変化？
3. 2026年 取り組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題
4. 2026年度 課題・ニーズへの対策検討・取り組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
  - ・久留米地域ITSモビリティ研究会の推進体制強化、地域連携基盤構築  
ビジネスモデル確立を目指す
  - ・第3回「久留米地域ITSモビリティ研究会」5月 ・第4回「久留米地域ITSモビリティ研究会」8月
  - ・第5回「久留米地域ITSモビリティ研究会」11月 ・第6回「久留米地域ITSモビリティ研究会」2月
  - ・自動運転ビジネス研究セミナー開催 九州アカデミーITSモビリティ研究会
6. 2026年度 取り組み体制
7. 活動計画 2026年度活動計画表



## 久留米地域ITSモビリティ勉強会2回開催後



### 「第一回久留米地域ITSモビリティ研究会」：挨拶



#### 研究会への期待と方針・スケジュール(牧野久留米市副市長)



#### 【主なトピック】

- 久留米市の概況
  - ・ 30万人都市だが人口減少と高齢化が問題
- 歩行者通行量の減少
  - ・ 郊外の繁栄と中心市街地の苦戦、市街地の空洞化が顕著
- 交通まちづくりの方向
  - ・ 拠点性／生活環境／交通ネットワークの良さを活用
  - ・ 新幹線駅を含めた25駅、高速道路ネットワークのへそ
  - ・ 西鉄久留米駅周辺整備構想（バスタプロジェクト含む）
- 九州MaaSへの期待
  - ・ MaaSリクワイアメントが重要
  - ・ SUNOパスはMaaSの先駆け
- 久留米地域ITSモビリティ研究会への期待
  - ・ 本研究会がコミュニティハブになるよう期待
  - ・ 産学官連携したビジネスモデルを構築が期待
  - ・ 久留米地域でのソリューションは全国に通じる

## 2026年度研究会予定

- ・ 第3回 「久留米地域ITSモビリティ研究会」 5月
- ・ 第4回 「久留米地域ITSモビリティ研究会」 8月
- ・ 第5回 「久留米地域ITSモビリティ研究会」 11月
- ・ 第6回 「久留米地域ITSモビリティ研究会」 2月

# 久留米地域の経済活性化にどうつなげるか？

## 第1部：話題提供



趣旨説明：EMoBIA代表理事 浦正勝



挨拶：久留米市副市長 牧野浩志様



講演：株式会社筑邦銀行 代表取締役副頭取 執行謙二様



## 第1部：話題提供1～4



話題提供1. 久留米工業大学  
学長補佐・教授 東大輔様

「内閣府SIPプロジェクト進捗報告と久留米地域  
自動運転提案について」



話題提供2：ITS Japan  
事務局 木村 聡様

「ITSJapanにおける災害対応の取組みの紹介」



話題提供3：日本ウォーキング協会  
事業総括専務理事 井上成美様

「JWAの取組について」

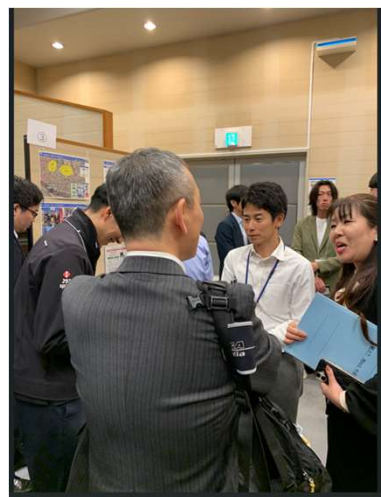
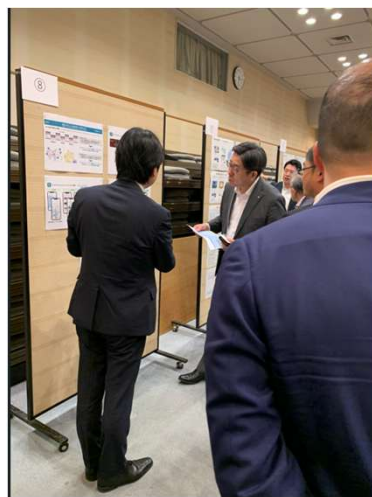
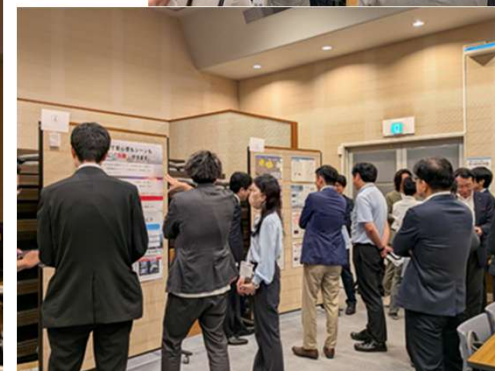
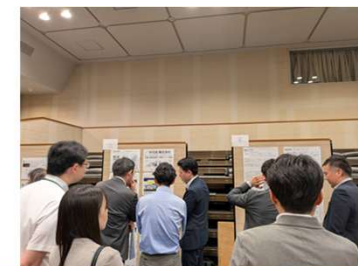


話題提供4：一般財団法人日本自動車研究所  
研究主幹 谷川 浩様

「自動運転L4社会実装に向けた実証走行データの有効活用について」

## 第2部：ポスターセッション

### ショットガンセッション（各テーマX1分スピーチ）

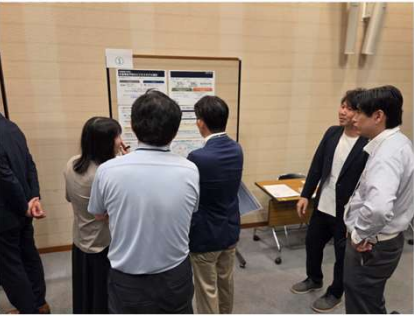


**第2部：ポスターセッション**

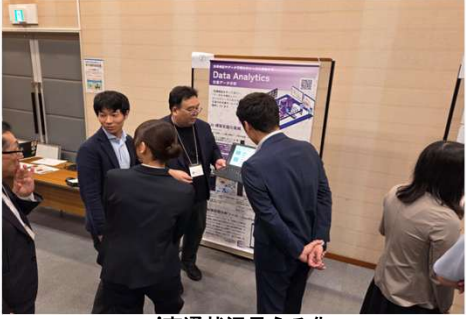
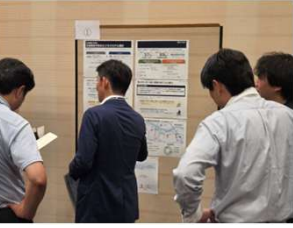
(60分)

交流・情報発信・収集・名刺交換・ビジネスマッチング

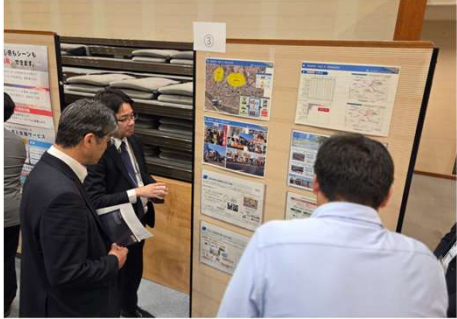
(正式会社名・敬称略)



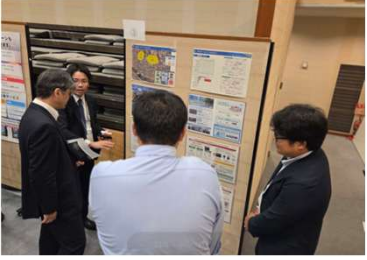
① NTTデータ：交通状況の可視化（交通事故防止）



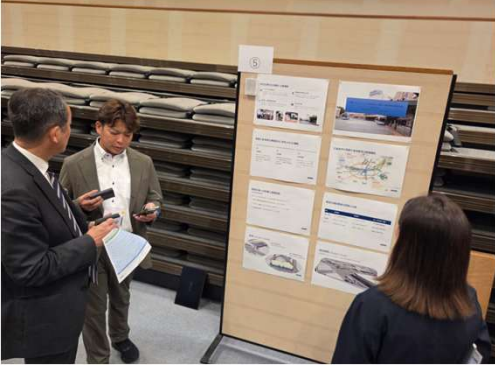
② AMANE：交通状況見える化（ジオルストを活用した交通計画作成）



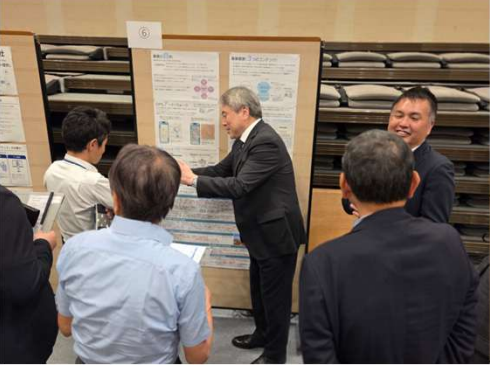
③ OKI、損保ジャパン、BRJ：公共交通の利便性改善（モビリティハブ）



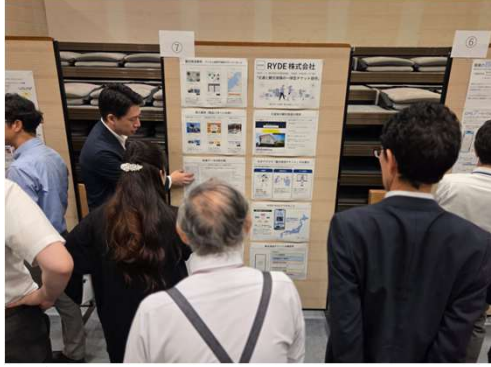
④ RYODEN：公共交通の利便性改善（自動運転とリスクアセスメント）



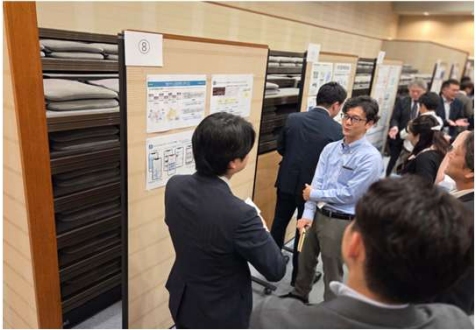
⑤ PTV：交通状況見える化（交通SIMを活用した西鉄久留米駅計画）



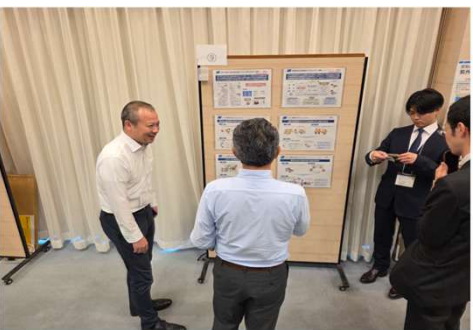
⑥ KCS・マープル・他：観光周遊の利便性改善（移動需要と賑わい創出）



⑦ RYDE：観光周遊の利便性改善（交通と観光体験の一体型チケット）



⑧ ゼンリン：観光周遊の利便性改善（ローカルツーリズムの推進）



⑨ OKI：スマート農業（物流の効率化）



⑩ それいけシステム：スマート農業（AIを活用した養鶏DX）



スマート農業（草刈機のスマート化）

+1 招待：オーレックス（ミックウェア）

### 第3部：パネルディスカッション（60分）

テーマ：「久留米地域の経済活性化にどうつなげるか！」

パネルディスカッションのトークテーマ

- ① 安全安心を久留米の都市価値とするために必要なイノベーションとは？
- ② 負のスパイラルに陥っている公共交通はどうすれば復活できるか？
- ③ 久留米の観光促進と交通利便性を高めるためにどうすべきか？
- ④ 地域農業の持続可能性を支えるスマート農業とは？

メンバー：モデレーター 福岡大学准教授 小野晋太郎

- ・久留米市副市長 牧野浩志・筑邦銀行代表取締役副頭取 執行謙二
- ・日本デジタル道路地図協会 理事長 増田博行
- ・久留米大学名誉教授 駄田井正 ・EMoBIA 代表理事 浦正勝



## 第4部： 交流会 (90分)

交流・情報発信・収集・名刺交換・ビジネスマッチング

参加 84名

交流会挨拶 牧野浩志副市長



乾杯！ 牧野浩志副市長



交流・名刺交換・マッチング



記念写真 参加者全員

交流・名刺交換・マッチング



中締め 執行謙二副頭取

